

平成23年度大阪府立清水谷高等学校 学校協議会（第3回）

記録概要

1 日時： 平成24年3月2日（金）午後3時00分～午後5時10分

2 場所： 大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 協議会委員：

委嘱委員

（敬称略）

座長 近畿大学 教職教育部 教授	田中 保和
東大阪市立新喜多中学校長	八田 磨
平成23年度 同窓清友会副理事長	伊藤 恵美子
平成23年度大阪府立清水谷高等学校 PTA 会計監査委員長	林 宏匡

校内出席者

校長、教頭、首席（兼将来構想委員）、首席（兼進路指導部長、将来構想委員）、
将来構想委員（教務部長、公選委員2名） ※書記：首席辻本

4 内容：

- ① 学校協議会開会
- ② 配付資料説明
- ③ 学校長挨拶
- ④ 協議
 - ・ 「平成23年度学校評価アンケート」について
 - ・ 「主体性のある学習態度の育成」に向けての取り組みについて
 - ・ 平成23年度 府立清水谷高等学校 学校経営計画
 - ・ 平成23年度 府立清水谷高等学校 評価報告書（案）
 - ・ 平成24年度 府立清水谷高等学校 学校経営計画及び自己評価（案）
- ⑤ 学校協議会閉会

5 協議：

「平成23年度学校評価に関するアンケート（学校教育自己診断）」について

- 校内委員より、アンケート結果について説明があり、その後、意見交換を行った。
 - ・ 自宅での学習時間が伸びない点について、宿題の量・塾との関係・宿題と予習復習との関係などの視点から意見交換があった。
 - ・ 部活動・自治活動などの項目について、肯定感が高いがより分析的に捉える意味で、具体的な取り組みとその達成感との関わりを見る必要があるのではないかとの意見があった。
 - ・ 若手教員が増えたことが影響を与えていると思われる項目がある。

- ・学校に対する満足度の経年変化が、最近の5年間上昇を続けていて、しかも90%というのはすごいことである。特に、この春の卒業生に限ると、年々上昇した満足度が3年生では94.8%になっている。
- ・設問作成者の意図と回答者の意図が合っているのか？

「主体的な学習態度の育成」について

- 主体的な学習態度を育てる授業という観点から、校内委員がどのような視点で授業をおこなっているかを報告。特にノートとの関わりでの意見交換があった。

《校内委員の報告(例)》

板書を写す時間を考える時間に向けてのためにプリント学習を行っている／発問の仕方に工夫・注意している／考えることが重要なので、ノートの作成法については指導するが、絶対に集めない／コピーマシンになってはいけないと常々言っている。

- ・報告のあった授業の中に主体性を育てる指針がある。まとめると良いのではないかと、いう示唆を頂いた。

平成23年度学校評価報告(案)・平成24年度学校経営計画および自己評価(案)

- 校長より報告の後、意見交換をおこなった。

- ・報告に、振り返りシート・振り返りHRに関することを盛り込んでという意見を頂いた。
- ・支援の必要な生徒像についての具体的な意見交換と自治活動との関連性についての示唆があった。ー自治活動の成果は、人間関係の構築力を向上させる！
- ・経営計画の数値指標については、指標を達成するために行うのではなく、目的が達成されれば、クリアできることを指標として示しているもので、結果として達成されなければ、その原因を分析して次へ進んで行けば良いとの示唆を頂いた。
- ・主体性のある学習態度の育成への取組みがうまく進めば、その他の取組みにも波及効果が期待できる。

6 その他：

- ・次年度も「主体的学習態度の育成」に取り組んで行くことを確認し閉会。